

# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

## 東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2019.10 >

BULLETIN

2019年7月～2020年6月



国際会長 Jennifer Jones「Building today for a better / On the MOVE! (オーストラリア)  
アジア太平洋地域会長 田中博之「アクション / 誇りと喜びを持って」(東京多摩みなみ)  
東日本区理事 山田敏明「勇気ある変革、愛ある行動」(十勝)  
関東東部部長 金丸満雄「紡ぐ ワイズのこころ」(東京ひがし)  
クラブ会長 西澤紘一「ワイズの絆をつむごう」(グリーン)

会長 西澤 紘一  
副会長 浅見 隆夫  
副会長 青木 方枝  
書記 布上征一郎  
会計 柿沼 敬喜  
監事 浅見 隆夫  
担当主事 木村 卓司

### 10月 収穫感謝祭

人々は麦とぶどうを豊かに取り入れて喜びます。

それにもまさる喜びを、わたしの心にお与えください。

< 収穫を終えた時、作ってきた物が完成した時の喜びは大きいものです。その喜びにもまさる喜びを神さまによって与えられますよう祈りつつ過ごしましょう >

(詩編4:8)

### 2019年10月第一例会

日時: 2019年10月16日(水) 18:30～20:30  
場所: 東京YMCA東陽町センター YMCAホール  
江東区東陽 2-2-20 TEL03-3615-5565  
受付: 根本君 / 司会: 佐野君

開会点鐘 西澤会長  
ワイズソング・ワイズの信条 全員  
聖句・お祈り 西澤会長  
ゲスト・ビジター紹介 西澤会長  
食事 (一言添えてニコニコ献金)

メンバー・スピーチ  
西本東司 メン

西本産業株式会社 代表取締役  
演題 「私の仕事・事業・会社・・・」

神田川関連報告 神田川委員会  
YMCA 情報 担当主事 木村 君

Happy Birthday  
< 高谷メン・柿沼メネット・古平メネット 3名 >

ニコニコ発表 プログラム委員  
閉会点鐘 西澤会長

### EMC-E / YES 強調月間

【EMC-E】 東日本区会員増強事業主任 札栲恵一  
「情報が伝わらない!!」

Change! 2022 委員会、会員増強事業委員会などに東日本区会員増強事業主任として携わってきて3か月が過ぎました。クラブの会長あてに「Change! 2022」ニュースを配信していますが残念ながら皆様十分に届いているとは言えないようです。せめて会長さんはロースターにメールアドレスなどの記載を確実にしてほしいものです。フェイスブック(FB)作成も真剣に取り組んで頂き、データのアップをよろしくお願ひいたします。

\*\*\*\*\*

【YES】 東日本区国際・交流事業主任 板村哲也  
YES(Y's Extension Support)は新クラブ設立の活動を支援するための地域(エリア)レベルの基金です。各区から地域に拠出されたYES 献金は全額が地域内のエクステンション関連費用に使用されます。

東日本区では独自に「YES 活動支援金支給制度(1クラブ当たり10万円を支給)を設けており、新クラブを設立すれば地域及び区の両方から支援を受けられます。

以上、東日本区理事通信 10月号から一部抜粋・編集掲載させていただきました。(布上)

【例会出席率】 在籍: 17名 メーキャップ 2名 出席率 11/17 64%

出席: 9月 (メン 9名、メネット1名、ゲスト1名) 計 11名

【ニコニコ】 9月例会 10,000円 (今期累計 36,000円)

＜2019年09月 第一例会 報告＞

日時:2019年9月18日(水) 18:00~20:30  
場所:東京 YMCA 東陽町センター YMCA ホール  
出席:浅見(隆)・柿沼・木村・西澤・西本(東)・西本(晃)・布上(征)・根本・樋口 布上(信)メネット  
ゲストスピーカー:深尾香子メン 合計11名  
(多摩みなみクラブ会長)



今月のゲストスピーカーは多摩みなみクラブ会長の深尾香子メンです。深尾さんは茶道・江戸千家のお偉い方、講師プロフィール、経歴などなど、当日の講演の中で配布された文章には具体的に記載されていますが分量が多過ぎましたので、事前にご本人から頂いてあった自己紹介文が平易で簡潔、それを編集、再度記します。



＜自己紹介＞\*\*\*\*\*

高齢化に喘ぐ多摩市にて、縁有って「介護予防リーダー」となる。約1年の研修の中からシニアに効く茶の湯メソッドを考案し稽古場にて実践、現在に至る。2年前骨折した老親も見事に現役復帰し(詳しくは卓話にて)、これを拮めない手は無いな、と考えている。

大学で日本文化史を専攻。20歳を契機に江戸千家の実家を出され、厳しい師匠に弟子入りするも、茶の湯では食べて行けないと訝しみ、一般企業を経て公務員となる。その頃、地元の児童館が予算削減を理由に「子ども茶の湯教室」を閉鎖。路頭に迷う子ども達を救うべく茶道教授としての活動を開始。彼らが立派に社会参加(理由は又の機会に)出来ていることから、キッズ茶の湯も欠かせないライフワークとなっている。

演題は「しびれて 笑って 健康茶道」

～覗いてみましょう、茶の湯教室」と致します。

深尾香子: 一般財団法人 江戸千家蓮華庵

茶道江戸千家教授 景福庵名倉宗香

(けいふくあん なくらそうこう)

\*\*\*\*\*

- 「茶の湯とは只湯をわかし茶をたてて飲むばかりなる事と知るべし」 利休百首
- 茶道から【和・敬・清・寂】を学ぶ  
仲間を大切に<和>、自分を支えてくれる人を<敬>い、身の回りも心もいつも<清々しく>、何物にも動じない、強い心<寂>を養う茶道
- 転ばない身体を作ろう! 茶道の基本動作、立ち坐り、跪坐(きざ)は足腰を鍛える。

深尾先生のお話クラブメンバー真剣に聞き入る。楽しいひと時となりました。ありがとうございました。

本日の誕生月は4名(西澤。早瀬メン/早瀬・佐野メネ)

ニコニコは10,000円でした。(布上 記)

＜2019年09月 第二例会 報告＞

【2019/9/11 クラブ役員会】9/18 例会配布  
千代田区和泉橋区民館 18:30~20:00 青木副会長  
出席:青木・浅見T・柿沼・木村・高谷・布上S・目黒  
配布資料:9月東日本区理事通信(第3号)

① 9月23日第33回 東京YMCAインターナショナル  
チャリティーラン(木場公園) 集合9:00am  
グリーン荷物番決定 参加者:浅見T・柿沼・西澤・布上S  
模擬店(フランク・焼きそば・水餃子・かき氷)  
金丸メンよりヘルプ依頼 参加者:青木・浅見K・布上N

② 10月5日(土) 関東東部部大会(東陽町)/  
江東クラブ60周年記念例会(祝会) 参加費8000円  
出席予定者:  
青木・浅見T・浅見K・柿沼・佐野・西澤・布上S 7名

④ 卓話者候補  
9月 ゲストスピーカー 深尾香子メン 茶道教室主宰>  
10月 メンバースピーチ 西本メン 「仕事・事業・会社」  
11月 メンバースピーチ 樋口メン「クラシック名曲談義」  
12月 クリスマス例会 高谷メン・銀座スナック交渉

【9/11 神田川委員会 ②】

実行委員長 目黒 卓

- 1.第80回記念開催 乗客動員状況確認と今後の手立て  
・乗船者の応募、クラブメンバー紹介の乗船者、  
・その他 乗船者確認作業…継続
2. 船宿との懇親会 目黒・柿沼・早瀬 で担当?  
感謝状作成/A4・額入り(布上)  
箱入りせんべい準備(柿沼)  
・日程の決め方、参加者、場所と予算等

3、10月12日、関東東部レクリエーション  
「神田川クルージング」の申込期日

(9月10日現在)の人数。

江東:9名、埼玉:2名、所沢:2名、川越:2名、ひがし:9名=合計24名(金丸部長より) + αあり?

\*YMCAで保険用に必要な詳細の名簿(氏名・年齢・住所・電話)は布上が作成中。(布上 記)

\*\*\*\*\*

～お詫び～

10月12日開催予定でした「第80回神田川船の会」は19号台風の関東地方直撃のため中止となりました。お申込みいただいた皆様に感謝致しますと共にお詫びを申し上げます。今後ともご支援のほど、よろしく願い致します。 <神田川船の会 実行委員会>

\*\*\*\*\*

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

Happy Birthday

10月 高谷禎宣(メン) 柿沼澄子(メネット)  
古平邦子(メネット)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★



2019年9月23日(月祝)、都立木場公園で開催。50チーム計340人のランナーと伴走者がカー杯走った。子供ランとその保護者あわせて800人が参加。ボランティア・スタッフ約220人と応援者を合わせると来場者総数は1,600人以上が参加、盛大な大会となった。

この大会は、障がいのある子どもたちを支援するとともに、“障がい”への社会的な理解と関心を高めることを目的とした駅伝大会で、1987年に東京で始まり、現在は全国21カ所のYMCAで開催されている。

当初から、国籍や年齢、障がいの有無によらず多彩なチームと一緒に走ることを特徴としてきたが、今年は特に障がいのある方のランニングクラブ「バンバンクラブ」の皆さんが、三菱商事の協賛を得て3チーム参加。東京YMCAの知的障がい者グループ等と合わせると、約40人のランナーが伴走者と共に快走。文字どおり、支援をする人も受ける人も一緒に楽しむ大会となった。本番の順位は以下。

- 1位:東京YMCA山手センター「ピンクパンサー」
- 2位:しのめYMCAこども園「しのめレッド」
- 3位:富士ゼロックス端数倶楽部「富士ゼロックスーA」



グリーンは今年も男性は車両で荷物番(預けた学生はたったの5人)。クラブ女性陣は模擬店のヘルプで大活躍。



ラッフル抽選で「第80回神田川船の会」のペア招待券が当たった2組のYMCAの職員さん、今年10/12は台風で中止となり、残念でした。来年の5月開催にも「ペア招待券有効」としましたので楽しみにして下さい。(布上 記)



2019年10月5日(土)関東東部大会が東京YMCA東陽町センターで開催された。14:00~15:00の第1部はひがしクラブ鮎澤メンの司会で金丸部長の挨拶でスタート。遠来の山田東日本区理事も来賓で挨拶された。

関東東部各事業主査、小林地域奉仕、徳永会員増強、浅見国際・交流、衣笠ユース事業主査の報告があった。さらに新クラブ(千葉ウエストクラブ)設立の快挙を高田設立副委員長から、長尾委員長の代わりに報告、来年3月末までには正式に発足させたいとのこと。

第2部では Change! 2022 の取り組みという事で、3年後2022年には東日本区会員数1,246名を目指すという目標を掲げて推進委員長の栗本元理事、東日本区会員増強委員長札埜メン(熱海)が特別講演を行った。グリーンからは西澤会長、柿沼次期部長、浅見国際・交流主査、佐野、浅見(ク)、青木、布上書記、7名出席。

《この場から全員下記の祝会会場へバスで移動》  
江東クラブ 60周年記念祝会



ラグー・山崎会長のリードでオールブラックスのハカを披露

江東クラブ60周年記念祝会は17:00から亀戸の立派な結婚式場「亀戸アンフェリション」で盛大に行われた。流暢な本間メン、大木さんの司会、江東クラブの皆さんと江東Yの皆さんの息の合った進行にぐいぐいと引き込まれ、アルコールも進む。第1部落語:柳亭燕路。第2部記念式、山田理事、菅谷東京YMCA総主事、加藤東京クラブ会長の挨拶、その皆さんで第3部では鏡開き。大いに飲み、騒ぎ、楽しんだ。江東クラブの歓迎パフォーマンスは庄



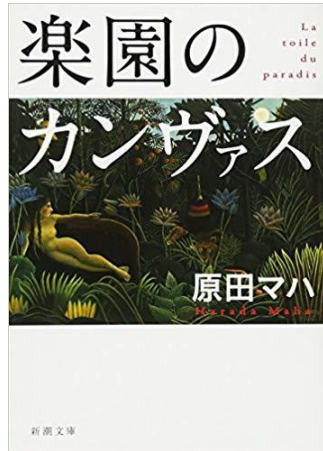
巻で大原真之介君が自作の歌を披露、素晴らしかった。140名程の参加者。

(布上 記)

## フリテン図書室

「楽園のキャンパス」 原田 マハ

(新潮社、2014年)



昨年(2018年)末、上野の山は美術展ブームで沸いていた。西洋美術館で「ルーベンス」、上野森美術館で「フェルメール」、東京都美術館で「ムンク」が並列して開催されており、どこも長蛇の列が続いていたことを思い出す。

そのタイミングで「暗黒のゲルニカ」の姉妹作である「楽園のキャンパス」、すなわち主人公をピカソからアンリ・ルソーに替えて、彼の劇的な生涯を現代に生きる早川織絵(大原美術館の監視員)とティム・ブラウン(ニューヨーク近代美術館のアシスタントキュレーター)との切ない恋心をバックに描いた小説である。

アンリ・ルソーは、今でこそ巨匠の仲間に入るが、20世紀初頭の絵画界では、日曜画家、素人画家と揶揄されていた。それまでの印象派の影響が強くルソーの描く近代美術の先駆的な作品は理解されていなかった。ピカソが革新的な現代美術の生みの苦しみをしていた時と同世代で、当時有名画家となって売れっ子であったピカソがルソーの才能を見出したと言う。彼の晩年の大作が「夢」である。この絵は1910年に発表されたもので、現在ニューヨークの近代美術館に所蔵されている。ジャングルの中で長椅子に寝そべっている女性、その傍らにいる沢山の花や動物が描かれている謎めいた構成になっている。

この小説では、ある富豪が所有するルソーの晩年の大作である「夢」と同時に描いたとされる「夢をみた」の真贋の鑑定を依頼された早川とティムが、その絵に添えられた日記風の冊子を1日ごとに互いに読み進めながら1週間でその真贋を見極めると言うストーリーになっている。

不遇時代のルソーの生活を支え、絵画道具を与え続けた謎の人、「夢」に描かれた裸婦のモデルになった女性の謎がミステリー風に展開していて、読みだすと止まらない。

最後の場面で、「夢」の中に描かれている女性ヤドヴィカが画家ルソーを陰ひなたなく支援してくれた恩人の奥さんであったことがわかる。

芸術家は、ただ神が与えてくれた自己の才能を信じ、ひたすら描き、彫り、創ることであろう。そうすれば、周りの温かい支援が生まれ、やがて世間から評価されることになる。ただし、芸術家が生きている間に良い評価を受けられるかどうかは不明であることが多いが、これも神の不条理なところであろう。

(西澤絢一 記)

## YMCA コーナー

1. 9月2日～6日、「第20回アジア・太平洋YMCA大会」が日本YMCA同盟東山荘にて開催され、アジア21カ国から約400名が集まりました。東京YMCAからは会員、職員、ユースボランティアリーダー合わせて18名が参加。「自然の恵みに抱かれ、平和に向かって共に生きる」のテーマのもと、スティーブン・リーパー氏(元広島平和文化センター理事長)による基調講演、グループワーク、テーマ別のワークショップ、エクスポージャー(フィールドトリップ)などのプログラムが持たれました。

2. 9月14日、恒例の「国際協力一斉街頭募金」を新宿駅周辺で実施。各部署から集った会員、ワイズメン、学生、メンバー、スタッフなど、総勢233名が街頭に立ちました。募金総額は338,788円となり、参加人数、金額ともに昨年を大きく上回りました。寄せられた募金はバングラデシュの7つのYMCAが運営する働く子どもたちの学校(NFPE)で学ぶ児童をはじめ、現地の青少年の教育支援に用います。

3. 障がいのある子どもたちの支援を目的に、「第33回東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン」を9月23日(月祝)に都立木場公園で開催しました。台風の影響で強風に吹かれる時間帯もありましたが、50チーム、伴走者も含めて計340人のランナーがそれぞれのペースで完走。またレース前の「こどもラン」には幼児・小学生約500人とその保護者が参加。ボランティア、スタッフ、応援者を合わせると来場者総数は1,600人を越え、にぎやかな大会となった。益金は東京YMCAと全国YMCAが主催する障がいのある子どもたちを支援するプログラムのために用いられます。



4. 今後の予定

10月12日(土) 第80回神田川船の会

11月15日(金) 久米小百合によるオリヴオイルのテイスティングとパイブルトーク

定員15名/参加費3,000円/

要申込/東陽町コミュニティー03-3615-5565

(担当主事木村 記)